

令和5年度(2023年度)学校教育目標

学ぶ喜び、つながる喜び、働く喜びを実感できるチーム伊倉の仲間づくり



玉名市立伊倉小学校だより 第21号

発行 校長 福田 賢一

## 愛校心(学校を愛する心)について考えを深めました

**1月24日4校時6年道徳の時間**

6年生の学級担任からGT(ゲストティーチャー)として終末の5分間で話をしてほしいと前週に依頼を受けていました。内容は「よりよい学校生活、集団生活の充実」です。高学年(5、6年生)段階で求められるのは、「先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること」です。

教科書の内容は「ぼくたちの学校」といって東日本大震災(2011年3月11日)後の永崎海岸付近(福島県いわき市)の小学校が舞台です。それまで当たり前のようにあった学校が津波の影響で使えなくなり、となりの小学校までバスで登下校する小学生たち。海岸の近くを通るバスの中で泣き出してしまう1年生。そんな1年生を励まそうと校歌を歌いだす6年生。

授業は伊倉小のいいところの確認から始まりました。「元気、笑顔、考える子、あいさつ、ゲー・ペタ・ピン、男女仲よし」などが出されました。

めあては「学校をさらによくするためには、どんな思いが大切かを考えよう」です。具体的にどんな行動に移すのかを考えるのは、学級活動などの特別活動になります。道徳の時間はその前段階として、今回は愛校心(学校を愛する心)を持つことの意味について考えを深める時間です。

終末で私は次のような話をしました。

伊倉小のいいところは、みなさんたち自身のいいところですね。下級生が見習えます。

「ぼくたちの学校」を漢字2文字にすると？

(6年生)「母校」。

正解。そう、「母校」ですね。

伊倉小は本年度148周年です。あと2年後には創立150周年記念の行事が行われるでしょう。

みなさんのお父さんやお母さんの中には伊倉小、または八嘉小の出身の方がいらっしゃるでしょう。ですから玉南中出身という方も。

他方で、お父さんやお母さんが伊倉小出身ではない方もいらっしゃるでしょう。でもPTA活動を見ると、とても協力してくださっている方がいらっしゃいます。私は本当に感謝しています。どうしてこんなに協力的なのでしょう。きっと自分の子どもが通う学校を自分の母校のように思っているからではないかと考えています。

昨日、玉南中学校の説明会に参加しましたね。玉南中の校長先生は八嘉小、玉南中の卒業生です。私は八代第六中学校の出身です。私にとって玉南中は第2の母校みたいなものです。というのは、玉南中には9年間務めたからです。9年間とは、小学1年生が中学校を卒業するまでの期間になります。私たちには転勤がありますが、9年間というのは最も長い勤務期間です。いまでも玉南中の校歌が歌えます。伊倉に関連のある2番を歌いますね。

両八幡の神杉や

舟をつなげる銀杏樹に

遠き歴史の声をきき

はげむ玉南中学の

若き我等に生氣あり

4月9日の入学式でも思い出してもらえたらと思います。これで私の話を終わります。

◇本校ホームページも随時更新しています。[伊倉小学校](#)で検索